

岡崎市議会議長 様

支出番号

7

会派名

代表者名 野々山 雄一郎



下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政務活動旅行報告書

平成29年10月 3日提出

活動年月日	平成29年8月10日(木)	
氏名	野々山 雄一郎	
用務先 及び 内容	1	用務先 愛知県豊橋市
	8月10日	内容 防災Wi-Fiステーション配備事業について
	2	用務先
		内容
	3	用務先
		内容
	4	用務先
	月 日	内容
備考		



日程	平成29年8月10日(木)
視察先・視察内容	愛知県豊橋市 防災Wi-Fiステーション配備事業について

概要 広域避難所や観光施設等で集客性のある施設(平常時の活用も多い場所・施設)を対象に公衆無線LAN環境を整備する。

要点 地域防災無線、防災ラジオ(コミュニティFM)、ケーブルテレビ、メール配信等に加えてスマートフォン向け「地域防災アプリ」を通じた情報発信を進めており、アプリがより確実に機能するなど情報伝達機能の強化を図るためWi-Fi環境整備を進める。また通常時は公衆無線LANを通じた情報通信環境を提供し、観光客等の利便性を向上させる。

視察内容 国・県の関係機関と豊橋市災害対策本部と各避難施設をWi-Fi利用の情報伝達で結ぶ。

平成27年度整備

①観光・防災Wi-Fiステーション

・牛川遊歩公園 ・幸公園 ・向山緑地
・豊橋駅南口駅前広場

②屋内型アクセスポイント

・とよはし情報プラザ ・二川宿本陣資料館

平成26年度整備

①防災情報Wi-Fiステーション

・豊橋公園 ・岩田運動公園 ・高師緑地

②屋内型アクセスポイント

・豊橋競輪場(東田公園) ・豊橋市民文化会館(向山緑地) ・こども未来館
・あいトピア(総合福祉センター) ・ほいっぷ(保健所保険センター) ・ライフポートとよはし

現在上記の15カ所、豊橋ケーブルネットワーク(株)がWi-Fiステーションを集中管理し、通常時は1日2回2時間までの接続が可能。災害時には災害対策本部が設置されたタイミングで24時間接続可能になり、豊橋市の災害情報ページへ接続されるようになる。

豊橋駅南口前広場・豊橋公園・岩田運動場・高師緑地のWi-Fiステーションでは、太陽光パネルと蓄電池を設置し、自立型の電源を確保している。日照がなくても二日間程度の停電期間にWi-Fi通信を提供可能な機能を備える。



岩田運動場公園Wi-Fiステーション

設備費については、国・豊橋市・豊橋ケーブルネットワーク(株)で1/3ずつの費用負担、通信費は全額豊橋市負担。通信費は平成26年度262,440円、平成27年度758,160円、平成28年度1,399,680円となっており、年々利用者が増加の傾向がある。特に情報プラザ・豊橋駅南口前広場での利用が多い。またこの期間には大きな災害は発生しておらず、主に観光の側面での利用が多いと考えられる。

課題・展望

運用費用が高いことから、(1カ所増設運用費用50万円～500万円)市単独での設置箇所拡大は難しく、観光での利用が多いことから、観光や市民サービス向上を主に災害時にも情報を個人個人で収集できるよう、安価なWi-Fi環境の整備を目指す必要がある。

その他の豊橋市公衆無線LAN環境整備箇所(SSID別)

FREESPOT

- ・市役所東館1階 13階(展望ロビー) ・アイプラザ豊橋(ロビー 学習室 会議室)
- ・豊橋市中央図書館 ・豊橋市大清水まなび交流館
- ・ポートインフォメーションセンター(ホール 展望室)

DoSPOT-FREE

- ・豊橋市民病院(1階飲食スペース 喫茶室)

ATkagaku

- 豊橋市視聴覚教育センター・豊橋市地下資源館

nonhoipark-freeWi-Fi

- 豊橋総合動植物公園

ビジネスWi-Fi

- 豊橋競輪場バックスタンド



市役所東館1階

WEB認証 認証画面を英語・ポルトガル語・韓国語・中国語・台湾語と多言語化し、広く情報提供するインフラとして用意している。

個人店等 個人店等の民間施設にはFREESPOT協議会との連携で豊橋市公衆無線LAN利用規約を作成し、民設民営を推進している。

所感 現在、岡崎市ではOKAZAKI FREEWi-Fiが岡崎公園に行政によって整備されている。他に民間事業者の協力で市内各所の民設民営で150カ所配置されている。NTTと提携し、一般の公衆無線LANより接続時間・使用回数などのサービスを受けられる。また公共施設に関しては、指定管理者が施設利用者に意見を聞き、整備されている施設、未整備の施設など様々である。

スマートフォンやタブレット等の利用率が高くなっているが、携帯会社のポケットプランの充実により、まだ日本人にはFREEWi-Fiの要望はさほど強くはないのが現状でもある。ただFREEWi-Fiが整備されているところで滞在したり、待ち合わせ場所や鉄道などの移動中にあると便利であるとの回答が多い。民間施設においては整備が進んでいる。外国人にはFREEWi-Fiの要望が高い。また観光客にも接続後に現れる各地の観光情報等は、観光ガイドになり、観光案内所にもなり、情報量が多ければ多いほど喜ばれている。本市の目指す観光都市化においても、東岡崎駅から北東街区、リバーフロント、中央緑道籠田公園等のQURUWAの空間にはFREEWi-Fiの必要性も提言していきたい。

滞在型施設にFREEWi-Fiの必要性を考える上で、交流センターや市民センターなどもあげられる。先日の私が受けた要望の中に、交流センターの一室でカラオケを楽しむグループからFREEWi-Fiあれば、カラオケの曲選択が増えるなど、楽しむ幅も広がるとの意見も出ている。

岡崎市の各観光施設、各イベントの来訪者が増えれば、その地域での経済効果への波及、その地域でのまちづくりの核となる一つの要素となることは間違いない。また観光施設や公共施設、都市公園は災害時の避難所になり、小中学校等の施設も含めた防災計画の検討材料にFREEWi-Fi整備をあげていきたい。

直近の課題とは言えない事業であると思うが、サッカーの試合がネット発信になりテレビ放映では見られなくなったり、教育現場ではネット配信授業など要領の大きい情報発信が今後増えていくことは間違いなく、滞在型のサービス以外の場合でも必要となる。岡崎市の観光戦略の方向性を始め、他のICT化戦略を今一度精査し、岡崎市の未来に必要なFREEWi-Fi整備施策を提言していきたい。